

令和元年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
推進校視察報告書

1. 視察日時

令和元年 12 月 17 日 (火) 11:30 ~ 15:30

2. 学校 (推進校) 名

古河市立古河第七小学校

(〒306-0042 茨城県古河市三和 176 番地 1)

3. 対象

第 5・6 学年

4. 実施場所

古河第七小学校 体育館・教室

5. 実践内容

石塚祐輔氏との交流会

(1) 講演会 (4 時間目)

(2) 給食交流

(3) 実技指導 (5・6 時間目)

6. 実践詳細

講師：石塚 祐輔 氏

(茨城県土浦市出身、陸上競技 400m、2011 年世界選手権出場)

(1) 講演会

① 小学校～高校時代について

- ・ 経験したスポーツ
- ・ 陸上との関わり

② 大学時代 (陸上競技) について

- ・ 大学 1 年次で怪我をし、人生初めての挫折を味わう

- ・ 家族や友人の支え
- ・ ライバルの存在
- ③ 社会人での競技生活について
 - ・ 試合動画鑑賞
 - ・ ライバルに初めて勝った時のこと

※人との出会いを大切に

※夢に向かって努力し続けることを大切に

(2) 給食交流

学級に入り、直接交流しながらの会食（6年1組）

(3) 実技指導（5時間目…第5学年、6時間目…第6学年を対象として実施）

- ・ ウォーミングアップ（鬼ごっこ）
- ・ スキップ（普通、高く飛びながら、前に大きく進みながら 各1回）
- ・ 腕振り練習
- ・ 腿上げ練習
- ・ 直線ダッシュ
- ・ 石塚先生と対決（各クラス1名ずつ）

7. 実践の経緯、事前事後学習、その他実践

- ・ 筑波大学のオリンピック・パラリンピアン派遣プロジェクトの一環として実施された。
- ・ 石塚氏が茨城県出身ということもあり、児童はより身近に感じながら話を聞くことができた。
- ・ 事前学習として、体育の時間に陸上競技の種目や歴史・記録について、学級活動の時間にオリンピック・パラリンピックの意義や歴史についての学習が行われた。
- ・ 事後学習として、講演会と実技指導を通して学んだことやこれからの目標について手紙でまとめる計画がなされている。

推進校視察
(茨城県)



写真1. 会場の様子



写真2. 講演の様子



写真3. 児童からの質問の様子



写真4. 実技指導の様子



写真5. スキップ指導の様子



写真6. 腕振り指導の様子